

作事組だより

第126号 (2023年10月号)
一般社団法人 京町家作事組
〒604-8241
京都市中京区三条通新町西入釜座町32
Tel 075-252-0392 Fax 075-252-2392
E-mail: kyomachiya@sakujigumi.com
事務局開局時間: (月)9:30-12:30
(火・木・金)9:30-16:30(祝祭日を除く)

【前栽の手入れについて学ぶイベント・祇園祭後祭 報告】

皆様、平素より作事組の活動にご協力いただきありがとうございます。

京町家作事組の井澤弘隆と申します。はじめに一言ご挨拶をさせていただきます。昨年度まで作事組の代表理事を務めさせていただき、皆様には大変お世話になりましたこと、この場にてお礼を申し上げます。

さて、作事組では普段より活動の拠点として活用している釜座町町家をより活発に、広く町家の良さを体験していただくために、さまざまなイベントを開催しております。

前号でお知らせさせていただいたとおり、6月24日(土)にはお庭のお手入れを学ぶと題して、会員である駒井造園による剪定作業を参加者の皆様と見学しました。定員いっぱいの10名の方にお越しいただき、前栽の剪定風景を間近に見ていただきながら、職人さんへの質問や手入れの仕方や時期などについて学ぶことができましたと思います。お庭のお手入れは毎年のことですから、町家にお住まいの方には身近なことと感じていただけたかもしれません。

7月には祇園祭後祭に合わせて釜座町町家を開放し、ヨーヨー釣りや冷たい飲み物などの販売、また学生の町家模型の展示などを開催させていただきました。こちらもたくさんの方やお子さんに参加いただき、なんとヨーヨーは300個完売しました!! 子供たちは大喜びの様子で、町家でのお祭りの一時を楽しんでいただけたと思います。二階では京都芸術大学の学生による町家の模型を展示させていただきました。釜座をモデルとした町家改修の課題を毎年されている京都芸術大学との共同で実現させていただきました。今後とも大学機関等とともに町家改修に取り組んでいきたいと思っております。

釜座は三条通りに面し、すぐお隣には昨年復興した鷹山を眺めながら過ごすことができます。ぜひ来年も多くの方に足を運んでいただけたら嬉しいです。

また、11/12(日)には釜座町家にて将棋の女流棋士をお招きして、女性限定の将棋女子会を開催いたします。こちらはすでに企画が進んでいるため当日の自由参加はできかねますが、追ってその様子をお知らせさせていただきます。

さらに、12/9(土)には昨年度も実施した釜座町家もちつき大会&薪割り体験を今年度も開催します。たくさんの方にご参加いただければ幸いです。今後も釜座町家と京町家作事組の活動を知っていただき、京町家の良さ、改修につなげていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



上：前栽の手入れについて学ぶイベントのチラシと当日の様子



左：祇園祭後祭イベントの様子

町家好きの方や親子連れなど、多くのお客様にお立ち寄りいただき、町家で楽しんでもらいました。

【釜座町地蔵盆開催報告】

ここ数年、新型コロナウイルス蔓延のため中止を余儀なくされてきた釜座町地蔵盆が、釜座町町家にて、8月20日（日）に4年ぶりに無事に開催されました。久しぶりに町内の方々が一堂に会し、お子さんを囲んで数珠回しをしながら、町内の子供たちの健やかな成長を祈願する一日を過ごすことができました。

（京町家作事組理事 井澤弘隆）



【伏見の町家の改修報告】

京、伏見間の物流を担った竹田街道にほど近い町家の改修です。建設年代は不明ながら近所の聞き取りでは大正13年以前、場合によっては明治にさかのぼるかもしれません。ご先祖は青物問屋であったということで、荷積みスペースと思われるトオリニワの幅が広いのが特徴です。

改修箇所は表の外観復旧、トオリニワに設けられた部屋の撤去、2階の厨子と木置きの改修と水廻り棟の改修が主なもので、改修の趣旨はほぼ作事組の改修方針に沿った「元の状態に戻す」ということでした。

一列3室型の規模の大きな町家ですが、相談時には依頼主のお義母さまがおひとりでお住まいでした。改修を発意し熱心に進めたのはご婦人です。すでに町家カルテ、耐震診断結果報告書があり、さらには「保全継承条例」の個別指定通知書までありました。

お義母さまは時代時代の生活要求と町家のありようとのギャップを埋め合わせようとして、子供部屋をトオリニワに埋め込んだり、一人でこなす家事が容易にできるようにしたりと、町家と悪戦苦闘してきたわけで、「元の状態に戻す」をすんなり受け入れられないのは当然でした。

しかし、ご婦人の町家に対する情熱は設計や改修工事のプロセスを通してお義母さまやご夫君を巻き込み、当初は念頭になかったご自身家族の同居でしたが、ご自身まで巻き込む形で、工事途中から完成時からの同居に動き出しました。そして娘さんを含め3世代同居が実現することになり、次代の町家の担い手が確定することになりました。それが今回の町家改修の最大の成果になりました。

（京町家作事組理事・設計担当 梶山秀一郎）

トオリニワ



改修前



改修後

厨子2階



改修前



改修後

【作事組古道具市】

作事組では、残念ながら取り壊された町家から救出してきた建具や古道具などを安価にて販売させていただいております。Instagramに写真を載せていますが、一部ここでも紹介いたします。

もちろん取付・設置・建合せ・灰汁洗い・古色塗り等も行いますので、
気になるものがございましたらお問合せください。

【QRコード】
作事組Instagram



#1 嫁かくし
高さ1460×幅770



#5 ガラス戸四枚組
高さ1730×幅575



#7 障子ガラス戸四枚組
高さ1720×幅490



#8 ガラス戸四枚組
高さ1720×幅490



#9 一間半ガラス戸四枚組
高さ1720×幅735



#10 ガラス窓二枚組（書院窓）
高さ735×幅365



#11 夏建具二枚組
高さ1715×幅870



#12 手あぶり
バラ売り可



#13 地板

【新入会員紹介】



中西豊商

畳一級技能士
京都府優秀技能者賞
(明日の名工)受賞
京もの認定工芸士

中西豊商3代目の中西良和と申します。祖父が花屋町通にあった山形屋という畳店で修業し、昭和13年に山形屋を引き継ぐ形で独立したのが始まりです。

現在は一般の住宅から旅館、世界遺産までお仕事をさせていただいております。

寸法を正確に測り、いかにきっちり畳を収めるかを大事に、10年後も畳の強度が保たれる丁寧な仕事を心がけています。お住まいの畳替えの際には、家具の移動もお任せください。



宮繕西出

一級瓦葺技能士・職業訓練指導員(屋根科目)
二級建築士

宮繕西出の西出豊蔵と申します。作事組、再入会です。父が瓦店を営んでいたため、学生時代から家業でアルバイトをしていました。サラリーマン・他の商売を経験した後、30歳くらいから瓦屋に本腰を入れて、49歳で独立しました。

以前、作事組で開催していた棟梁塾(1期生)で、広く町家に関する知識や他業者の職方のやり方を学んだおかげで、現場で話が通じ、段取りよく仕事が進められています。

現場ではご近所の協力も非常に大事で、態度やあいさつ、心遣いを大切に仕事をしています。



株式会社堤瓦商店

一級瓦葺技能士
建築施工管理技士1級
重要文化財建造物保存修理
工事競争入札参加資格

堤瓦商店代表取締役の長谷川浩次と申します。元々、瓦店を営んでいた堤家に婿養子に入り、2代目を継承しました。先代が社寺との付き合いが多かったため、今も社寺仏閣の現場が多いですが、町家も手掛けております。3代目の息子も工織大で建築を学んだ後、今は瓦職人として施工管理技士1級を取り、現場に出ています。

会社の職人さんには、感謝の気持ちを持って仕事に臨むこと、瓦以外の仕事も分かる応用の効く職人になること、仕事を好きになってもらうことが大事だと伝えております。また、自分の現場だけでなく会社全体の現場の状況も各職人が常に把握できるよう、朝礼は欠かさず行っております。



西山瓦工業

一級瓦葺技能士

西山瓦工業の西山良治と申します。祖父の代から瓦屋で3代目になります。高校卒業後、東京で1年、京都で2年修業しながら瓦学校を修了した後、西山瓦工業を立ち上げた現在29歳の職人です。

和の家が好きなので、町家の仕事は楽しいです。瓦の仕事は、自然に対抗しなければならないことだと思います。雨漏りを直してお客様に喜んでもらった時が、最大の喜びであり、やりがいを感じる時です。

現場では、技術的なことだけでなく、あいさつや整理整頓、屋根の仕事はお客様に見えないので、下回りの片付けは完璧に、来た時よりもきれいにして帰ることを大切にしています。



植新 駒井造園

一級造園技能士
一級造園施工管理技士

植新駒井造園の駒井一宏と申します。曾祖父から4代目になります。京都芸術短期大学(現、京都芸術大学)

でランドスケープデザインを学び、22歳から造園業に携わっています。個人邸、町家、文化財等の庭を中心に、作庭からメンテナンスまでお仕事をさせていただいております。

お客様のご意向を重視しながらも、自身のこだわりを発揮できるように、対話を大事にしながら進めるようにしています。石も植物も好きなので仕事は楽しいですが、お客様と自身の描いたイメージが重なり、出来上がった庭で共感していただけの時が最大の喜びです。



株式会社梅鉢園

一級造園技能士
二級造園施工管理技士

株式会社梅鉢園(うめばちえん)の梅野星歩と申します。長岡京市に本拠を置く庭師です。寺社仏閣庭園から京町家の坪庭まで作庭させていただいたりメンテナンスを行っています。

最近では海外でも日本庭園や日本文化が高く評価され、21世紀のジャポニズムブームのような感覚もあります。永い歴史と土地に息づいた雰囲気を守りながら、時代性をも組み込んだ心地よい庭造りを目指しています。